

# 幼 兒 の 教 育

昭 和 六 年 一 月

## 人 間 教 育

人間を人間へ教育しつつあるといふことは、われ等の、一日も一刻も忘れてならないことである。また此の本念に於てのみ、われ等の日々の業務が、ほんとうに意味づけられる。或は、この故にこそわれ等の努力が生命づけられるといふものである。

教育の必要性を、それ／＼の方面と部門とに於て、いろ／＼に主張する論もある。しかし、われ等の責任感の出発も歸結も、此の教育太本の自覺によつて、始めて嚴かである。幼児と俱にあそび暮しつつ、此の人間教育の嚴かさ生きるもの、それが幼児教育者である。